

(141203 version)

第十回福島原発事故による長期影響地域の生活回復のためのダイアログセミナー
「福島における伝統と文化の価値」

2014年12月6・7日（土・日）

会場：伊達市役所シルクホール（阿武急大泉下車、徒歩5分）
<<http://www.city.date.fukushima.jp/soshiki/5/338.html>>

発起人

国際放射線防護委員会（ICRP）

協力と後援

飯舘村、伊達市、放射線安全フォーラム、福島のエトス、福島県立医科大学
フランス放射線防護・核安全研究所、ノルウェー放射線防護局、フランス原子力安全局
経済協力開発機構・放射線防護公衆衛生委員会、

同時通訳

ディプロマット社（平野加奈江、町田公代）

会合関連サイト

ICRP 通信：<http://icrp-tsushin.jp/>
福島のエトス：<http://ethos-fukushima.blogspot.jp/>

第十回ダイアログセミナーの目的

The 10th Dialogue Seminar is held with the theme of “「福島における伝統と文化の価値」のテーマで開催する。福島原発事故では、放射線が人々の日常生活に侵入した。その放射線については、健康影響に関するさまざまな意見が氾濫し、政府の対応も混乱を極めた。これは、放射線の健康影響についての判断について人ごとに異なる状況をもたらした。その結果、夫婦、家族、コミュニティなどあらゆるレベルでの分断が生じ、今に至っている。しかしこの状況にあってもなお人々が共有できるものに伝統や文化がある。伝統と文化は、守り育て受け継ぐものであり、これは、分断された状況のなかでも人々が共有し得るものである。そしてこの共有は人々をつなぐ。文化や伝統には、祭のような華やかな非日常の活動の中で保たれ、また野良仕事や食生活など生活の片隅の中にも今日まで息づいている。さらに伝統には古くから守られてきたものもあり、文化の中には現在も育ちつつあるものもある。

今回のダイアログでは、放射線による分断の中でなお人々をつなぐものを学び、伝統や文化が復興にもつ意味について対話を行う。

同時通訳

英語と日本語の同時通訳をイヤホーンで聞くことができます。

セッションの構成

午前：発表セッション

午後：対話セッション

その他

昼食（お弁当）およびペットボトルなどは主催側で用意してあります。

6日夕方はだてみらいホール保原でレセプションを開催します。

プログラム

第1日目 12月6日（土）

9:30-10:00 開会

全体司会：ジャック・ロシヤール(フランス、CEPN)
多田順一郎（福島、放射線安全フォーラム）

挨拶

飯舘村々長 菅野典雄
ICRP 委員 ジャック・ロシヤール

自己紹介

国内・海外参加者の自己紹介（各自1分で名前、専門、経験などを話す）

10:00-10:40 セッション1 発表：福島的生活文化（40分）

菅野 元一（飯舘、元農業高校校長）：福島的生活文化と山菜（20分）
佐藤金正（県会議員）：福島的生活文化と畜産（20分）

10:40-12:20 セッション2 発表：チェルノビル事故の影響を受けたノルウエーの地域への訪問（100分）

飯舘村のノルウエー訪問：全体発表（5人、60分）
安東量子（いわき）：訪問の経緯報告と司会（10分）
多田朋永（飯舘村役場）：ノルウエー訪問の報告
齊藤博史（飯舘村役場）：ノルウエー訪問の報告
山田猛史（飯舘村）：畜産農家としてのノルウエー訪問
菅野クニ（飯舘）：飯舘の女性としてのノルウエー訪問
飯舘村からの訪問を受けて（40分）
アストリッド・リーランド（ノルウエー放射線防護庁）：
人と人との交流の価値（20分）
佐藤吉宗（スウェーデン）：スウェーデンにおけるチェルノビリ事故の影響（20分）

12:20-13:20 昼食

お弁当が用意されています。

13:20-13:40 実演：伝統の踊り（市役所1階の階段前）

外内手踊りの会（飯舘村外内）：手踊り実演（20分）
境野 健兒（福島大学名誉教授）：司会
外内手踊り保存会（飯舘村外内）：手踊り実演（20分）
青木 好光（飯舘村外内）：保存会会長・踊り手
三瓶 政美（飯舘村外内）：世話人
愛澤 文良（飯舘村外内）：行政区長
青木 公男（飯舘村外内）：踊り手・おいとこ
佐藤 キミノ（飯舘村外内）：踊り手・おいとこ
田辺 巖（飯舘村外内）：踊り手・おいとこ
佐藤 ひろこ（飯舘村外内）：踊り手
青木 直子（飯舘村外内）：踊り手
佐藤 義明（飯舘村外内）：踊り手
三瓶 たつ子（飯舘村外内）：踊り手

赤石澤 末子（飯舘村外内）：踊り手
愛沢 めぐみ（飯舘村外内）：踊り手
青木 弥生（飯舘村外内）：踊り手
赤石澤 京子（飯舘村外内）：踊り手

**14:00 – 16:00 セッション3 対話：福島における伝統と文化の価値
ステップ1 一何が問題か**

司会：ジャック・ロシヤール（フランス、CEPN）

報告担当：ジャンフランソア・レコンテ（フランス、CEPN）

ステップ1の進め方：

ステップ1で対話参加者は設問に対する回答を2回行う。

初回は自分の意見を述べる。

次回は他の方々の意見を聞いたあとで、自分の意見を述べる。

パネル討論参加者（17名）

菅野典雄（飯舘村長）
黒田裕次郎（福島医科大学）
菅野 元一（飯舘村）
佐藤 金正（県会議員）
安東 量子（いわき）
多田 朋永（飯舘村役場）
齊藤 博史（飯舘村役場）
山田 猛史（飯舘村）
菅野 クニ（飯舘村）
境野 健兒（福島大学名誉教授）
三瓶 政美（飯舘村外内）
愛澤 文良（飯舘村外内）
青木 公男（飯舘村外内）
佐藤 ひろこ（飯舘村外内）
大森 真（テレビユー福島）
早川 正也（民報）
菊池 克彦（民友）

16:00 – 16:30 休憩

16:30 – 17:00 報告担当者によるまとめと総合討論

司会：ジャック・ロシヤール

報告担当：ジャンフランソア・レコンテ（フランス、IRSN）

17:00 移動 伊達市役所からマイクロバスでレセプション会場に移動

17:30 – 19:00 レセプション 参加無料です。ぜひご参加ください。

場所：みらいホール伊達（<http://navifukushima.com/>）

〒960-0672 福島県伊達市保原町字下野崎 5-1、[TEL:024-576-3112](tel:024-576-3112)

飯舘村菅野典雄村長ご挨拶の後に歓談

第 2 日 1 2 月 7 日 (日)

9:30- 開会

全体司会：ジャック・ロシヤール(フランス、CEPN)
多田順一郎 (福島、放射線安全フォーラム)

挨拶

伊達市長 仁志田昇司

自己紹介

新規参加者の自己紹介 (各 1 分で名前、専門、経験などを述べる)

9:50 – 12:05 セッション 4 発表：福島における伝統と文化の価値 (135 分)

福島における祭り (30 分)

高橋 重義 (前福島市ふれあい歴史館職員)：福島における地域の歴史と祭り
伊達市地域での祭りと人々 (55 分)

太田 正孝 (月舘)：月舘上手渡地域小志貴神社における牡丹獅子舞の継承 (20 分)

柳沼 守 (富成)：富成の諏訪神社における祭太鼓の継承 (15 分)

佐藤 忠信(福島市) 大森赤城神社の祭りの新興住宅地域での創生 (20 分)
飯舘村の伝統芸能の継承・復活と地域づくり (20 分)

境野健兒 (福島大学名誉教授)：飯舘村の祭り与人々のつながり (20 分)

音楽を通じた人と人のつながり (3 人、30 分)

大森 真 (テレビ U 福島)：フェスティバル FUKUSHIMA の活動紹介と司会

宍戸 カンナ (福島高校 Jazz 研究部)：震災後の福島での高校生活

片平 なつみ (福島高校 Jazz 研究部)：震災後の福島での高校生活

12 : 10 – 13:10 昼食

お弁当が用意されています。

13:10 – 13:30 実演：伝統の太鼓 (市役所 1 階の階段前)

諏訪神社の祭太鼓の実演 (10 分)

柳沼 守 (富成)

佐藤 秀人 (保原高校)

菅野 亜実 (松陽中学校)

13:40 – 16:00 セッション 5 対話：福島における伝統と文化の価値

ステップ 2—どのように前進するのか

司会：ジャック・ロシヤール (フランス、CEPN)

報告担当：テリー・シュナイダー (フランス、CEPN)

ステップ 2 の進め方：

ステップ 1 で対話参加者は設問に対する回答を 2 回行う。

初回は自分の意見を述べる。

今回は他の方々の意見を聞いたあとで、自分の意見を述べる。

パネル討論参加者（21名）

早野龍五（東京大学）
菅野 元一（飯舘村）
佐藤 金正（県会議員）
安東 量子（いわき）
菅野 クニ（飯舘村）
勝見 五月（福島、元伊達市教育員会）
柳沼 守（富成小学校元PTA会長）
佐藤 忠信（福島市大森一区）
小林 誠（伊達市地域おこし支援員）
佐藤 義秀（富成小学校元PTA会長）
佐藤 秀人（保原高校）
大森真（テレビユー福島）
宍戸 カンナ（福島高校 Jazz 研究部）
片平 なつみ（福島高校 Jazz 研究部）
境野 健兒（福島大学名誉教授）
三瓶 政美（飯舘村外内）
愛澤 文良（飯舘村外内）
青木 公男（飯舘村外内）
佐藤 ひろこ（飯舘村外内）
早川正也（民報）
菊池克彦（民友）

16:00 – 16:30 休憩

16:30 – 17:00 報告担当者によるまとめ

報告担当：テリー・シュナイダー

17:00 – 17:30 閉会

全体のまとめ（10分）

テッド・ラゾ（フランス、経済開発機構）

閉会の挨拶

ジャック・ロシヤール